

キッズクラブ通信

2018、9、15
NO.29

2学期になって

子ども達が楽しみにしていた夏休みは、あっという間に終わってしまいました。最終日は「もう夏休み、終わり?」「今度は、冬休みにきたいな」「また会おうね」と惜しむようにお互い手を振って帰るシーンが見られました。

約1ヶ月と10日を子ども達は思いつきり楽しむことが出来たでしょうか?

子ども達の大きな声が響いていた駅前キャンパスの中は静かになっています。(学園の大人たちは少し寂しそうですよ!)

今年は何年になく暑い日が続いていました。学園の職員の方々が扇風機やよしず、冷風機を準備して下さったり学生ホールを開放して下さったりと本当にお世話になった夏休みでした。

コミュニティケーショ ンを学ぶ場

夏休みに入って初めて来た子や久々に利用する子もいました。イベントや遊び、オープンエデュケーションという学習方法を通して、他の子とのかかわり方などを学んでいってほしいと思っています。

←写真は、コマ回しの場面。お互い違う学校ですが、一緒のコマ台に向かってコマをしています。ひもの巻き方、コマの投げ方、コマの技を時にはスタッフも交えて教えあっています。



紙芝居を つくろう!

さて、夏休みの様子についてです。(前号は洋食のマナーまでお知らせしています。)

七月二十五日(水)は「かみしばいをつくろう!」でした。

・伝えたいことをまとめてみんなに知らせる(四コマで)
・グループ活動をしてお互いかわり方を学ぶ
を目的として活動しました。5年生が中心となって話を決めていきます。

初めはどう声を掛けたらグループのメンバーが作業しやすいかが分からなかった五年生でしたが、スタッフの声掛けで一人一人ができることを考えて伝えていました。グループの子の話をしっかり聞いて「それいいね」とほめている場面もありました。

出来上がったならみんなの前でグループごとに発表しました。



ロールパン作り

七月二十六日(木)は昼食づくりでした。材料を切る係・スープを作る係、卵やウィンナーを炒める係・皿に盛りテーブルに並べる係・皿を洗う係に分担して作りました。

「何もしない!」と言った低学年の子に「じゃあ、何も食べるなよ」と声を掛けた子、「皿を並べる」はできる?」と声を掛けてくれた子それぞれがいて、その子は皿を並べることにしました。



どう声を掛けるとやる気があるのかを考えてくれているリーダーたちが頼もしいです。

英語レッスン

七月三十日(月)は吉備国際大学・外国語学科ジョン・フォーセツト先生の英語クラスの日でした。

初めは、先生に恐る恐るの子ども達でしたが、先生の会話や質問に一所懸命耳を傾けていたら、先生の人懐っこい人柄に慣れ、会話を楽しんでいました。

「Do you like〜?」の文章に単語を入れてお互いにインタビューしていました。



ドッジボール交流会

三おおの児童クラブ

七月三十一日(火)は大安寺にある大野小学校内 おおの児童クラブへ行きました。

毎年、交流しています。おおの児童クラブさんは夏休みは百人近くの子ども達が利用しています。各学年と一緒に混ぜてもらい、

合同チームでドッジボールをしました。

初めは「ドッジしないから」と言っていた子もいつの間にか混ざっていました。

最後は「高学年チーム」対「大人チーム」で対戦。大人げない「大人チーム」もさすが「高学年チーム」には苦戦しました。



工作教室

八月一日は吉備国際大学・通信教育部心理学部子ども発達教育学科の佐藤尚宏先生による工作教室でした。今年は「木のキーホルダー作り」です。

導入は、先生による木についての絵本の読み聞かせです。ア

ツという間に木の世界に入っていました。



そして、木を組み合わせたものをサンドペーパーで削っていきます、最後に金具を付けて完成です。サンドペーパーは目の粗い順に型紙に貼られています。とても使いやすいように先生は準備して下さっていました。作品が完成すると子ども達は、自分のリュックサックにつけていました。

